



2023年12月24日
クリスマス歓迎礼拝式

「すばらしい Holy Night」

1. 夜空にかがやく 天のつかいたちが
羊飼いたちに 知らせたよろこび
待ちのぞんでいた 祈りつづけてきた
救い主が 今日 お生まれになった
* 羊飼いたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night

2. 小さな馬小屋 飼い葉おけの中で
静かにねむっている 救い主イエスさま
天の神様が 愛するひとりごを
ひとの罪のために この世におくられた

(*くり返し)

【次】

「すばらしい Holy Night」

3. ありがとう神様 心からありがとう
わたしたちのために イエス様をありがとう
わたしたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night
- ラララララララ……………
ラララララララ……………
すばらしい Holy Night

209 牧人ひつじ

まきびとひつじを まもれるそのよい
たえなるみうたは あめよりひびきぬ
よろこびたたえよ
主イエスは生まれぬ

新聖歌79番 「天(あめ)には栄え」

- 1 「天(あめ)には栄え み神にあれや つちには安き
人にあれやと」と み使いたちの たたうる歌を
聞きてもろびと 共に喜び 今ぞ生まれし 君をたたえよ
- 2 さだめたまいし 救いの時に 神の御座(みくら)を
離れてくだり 御霊(みたま)によりて おとめにやどり
よびとの中に 住むべきために
今ぞ生まれし 君をたたえよ
- 3 朝日のごとく 輝きのぼり み光をもて 暗きをてらし
土よりいでし 人をいかしめ 尽きぬいのちを
与うるために 今ぞ生まれし 君をたたえよ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌78番 「荒野(あらの)の果てに」

1 荒野の果てに 夕日は落ちて

妙(たえ)なるしらべ 天(あめ)よりひびく

* グローリヤ インエクセルシステオ ×2

2 羊をまもる 野辺(のべ)の牧人(まきびと)

天(あめ)なる歌を よろこび聞きぬ * (くりかえし)

3 み歌を聞きて 羊飼いらは

まぶねにふせる み子をおがみぬ * (くりかえし)

4 今日しも み子は 生まれたまいぬ

よろずの民(たみ)よ いさみて歌え * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン